2026年12月4日（金）

第1会場（愛知医科大学　たちばなホール）

16:45-17:00　開会式

大会長：渡邉　栄三（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）

17:00-18:50　会長企画

座　長：渡邉　栄三（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）
　　織田　順（大阪大学救急医学）

演　者：
「働き方改革　救急需要　地域医療　救急システム」
　　織田　順（大阪大学救急医学）

「富山県中部地方9県における救急科医の地域偏在
―二次医療圏単位でみた「不在」と「低密度」における救急医の偏在化と働き方改革の影響」
　　上村　修二（札幌医科大学　病院管理学講座　病院経営分野）

「多様なキャリアを志向する若手救急医をいかに育成するか
―働き方改革と地域枠制度のもとでの大学病院の役割―」
　　岩田　充永（藤田医科大学　救急医学・総合内科学）

「中部地方の救急医の偏在化と働き方改革の影響」
　　土井　智章（富山大学　医学部　救急医学講座）

「我が県における救急医療提供体制の現状と当地域での対応
～なぜ選定療養費徴収に至ったのか？～」
　　谷口　健太郎（松阪中央総合病院）

「医師偏在に対して救急医によるキャリアコーディネータの実践と県政との関わり」
　　橋田　知明（東千葉メディカルセンター　救命救急センター）

第4会場（愛知医科大学　203講義室）

15:00-16:30　理事会

第5会場（愛知医科大学　201講義室）

13:30-14:30　中部ブロック ドクターヘリ連絡会議

17:00-18:50　一発診断　若手委員会企画

座　長：稲葉　和真（神戸市立医療センター中央市民病院）
　　鈴木　秀聖（沖縄県立北部病院）

17:00　座長よりご案内

演　者：

17:02　一発診断 1 「子宮体癌治療中に意識障害，低体温，著明な低血圧を呈した一例」
　　阪田　宏樹（山梨大学医学部　救急集中治療医学講座）

17:10　一発診断 2 「尿管結石！ではなかった水腎症を伴う右背部痛の 1 例」
　　中村　天音（名古屋掖済会病院）

17:18　一発診断 3 「口の中に何かが飛んできた」
　　渡邊　奏（藤枝市立総合病院）

17:25　一発診断 4 「頭部 CT で異常所見を認めず、頭痛と視野障害が持続した 1 例」
　　中竹　良美（松阪中央総合病院）

17:33　一発診断 5 「術中にあるはずのものがなくなった」
　　飯室　陽南子（藤枝市立総合病院）

17:41　一発診断 6 「食べちゃダメです！誤食により、血液透析を要するとある中毒に至った認知症高齢者の 1 例」
　　川村　理尭（諏訪赤十字病院）

17:49　一発診断 7 「2026 年事件は GENBA で起こる！踊る○○○○」
　　山腰　彩加（JA 愛知厚生連海南病院）

18:00　一発診断 8 「振戦と嘔吐で独歩来院した直後に意識障害をきたした 89 歳男性」
　　藤澤　峰登（藤枝市立総合病院）

18:08　一発診断 9 「Hurry up! but Haste makes waste.」
　　舘　祐香里（富山大学附属病院　災害・救命センター）

18:16　一発診断 10 「腹部画像検査で異常を認めなかった遷延性腹痛の 1 例」
　　中林　明璃（三重大学医学部附属病院）

18:24　一発診断 11 「脳卒中を強く疑うも診断に苦慮し、詳細な画像読影で診断に至った急性期意識障害の一例」
　　武田　紘輝（岐阜大学医学部附属病院）

18:32　一発診断 12 「CT じゃダメだった！軽度構音障害の 1 例」
　　加治　凌（山梨県立中央病院）

18:40　一発診断 13 「家康の戦略」
　　大手　裕之（海南病院　救急科）

第 8 会場（愛知医科大学　711 講義室）

13:00-18:00　HP-CPR ベーシックコース in 第 29 回日本救急医学会中部地方会

主　催：GRA Japan Chapter
加納　秀記（愛知医科大学病院）
山内　恭雅（尾三消防本部）
立松　健二（尾三消防本部）

2026年12月5日（土）

第1会場（愛知医科大学　たちばなホール）

8:50-9:00　開会式

大会長：渡邉　栄三（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）

9:00-10:30　シンポジウム①

【地域で命と想いをつなぐ臓器提供体制・移植医療のあり方】

座　長：渥美　生弘（浜松医科大学医学部附属病院　救急科）
　　苛原　隆之（春日井市民病院　救命救急センター・救急科）

演　者：
「ごく限られた時間の中で患者と家族の「これまで」と「これから」に想いを馳せる」
　　齋藤　大輔（愛知医科大学病院　看護部）

「中部地区におけるドナー関連業務実施法人の立ち上げと今後の展望」
　　剣持　敬（藤田医科大学病院　臓器移植科）

「地域で命と想いをつなぐ小児救命救急センターの役割　―地域の救命救急センターとPICU、救急医と移植医をつなぐ―」
　　石川　祥一朗（あいち小児保健医療総合センター　救急科）

「岐阜県における臓器提供体制構築に向けた拠点施設の取り組み」
　　林　賢二（岐阜大学医学部附属病院　看護部/臓器移植支援室）

「生命維持治療の中止と心停止後臓器提供を両立するための倫理的課題」
　　舩越　拓（名古屋市立大学病院）

「全力の救命に続く全力の看取りのカタチ　～当院の臓器提供事業のスタートアップから現在まで～」
　　川浪　匡史（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

10:35-11:35　特別講演

【Surviving Sepsis Guidelines -- and Sepsis Management State of the Art 2026】

司　会：渡邉　栄三（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）

演　者：Craig M. Coopersmith（Emory Critical Care Center, Emory University School of Medicine, USA）

13:10-14:10　幹事会・総会

14:15-15:35　シンポジウム②

【救急医学領域の基礎研究と施設間連携によるその推進】

座　長：今村　浩（信州大学医学部　救急集中治療医学）
　　松田　直之（名古屋大学医学系研究科 救急・集中治療医学分野）

演　者：
「世界に向けた救急医療の創造― 北海道大学・富山大学・京都大学・名古屋大学での診療・研究・教育の軌跡」
　　松田　直之（国立大学法人東海国立大学機構　名古屋大学大学院　医学系研究科　救急・集中治療医学分野）

「Clinical Question から始まる異分野連携 ― 臨床と基礎を「つなぐ」基礎研究 ―」
　　岡田　英志（岐阜大学医学部附属病院　高次救命治療センター）

「敗血症病態におけるオートファジーの功罪」
　　渡邉　栄三（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）

「敗血症の病態研究と今後の展望：sPDL-1 とコリシンによるパイロット研究より」
　　鈴木　圭（三重大学医学部附属病院　高度救命救急・総合集中治療センター）

14:15-15:35　シンポジウム③

【重症外傷センターってどうですか？】

座　長：岩瀬　史明（山梨県立中央病院　高度救命救急センター）
　　津田　雅庸（愛知医科大学病院　高度救命救急センター）

演　者：
「三重県南部における外傷診療の砦として全員野球で外傷を診る」
　　橋場　奈月（伊勢赤十字病院　外科）

「浜松医療圏における重症外傷センターの未来像：リソースの動的可視化と多施設コンセンサスによる連携構築」
　　伊良部　真一郎（聖隷浜松病院　外傷救急外科）

「岐阜県の重症外傷診療の現状と今後の課題」
　　三宅　喬人（岐阜大学医学部付属病院　高次救命治療センター）

「長野県における重症外傷診療の集約 ―外傷診療施設機能評価から考える課題と展望―」
　　問田　千晶（信州大学医学部救急集中治療医学教室）

「中部地方における重症外傷センターの展開：病院前から集中治療まで一貫した診療モデルの有用性」
　　萩原　一樹（山梨県立中央病院高度救命救急センター）

「愛知県重症外傷センター設置の経緯と現状」
　　萩原　康友（名古屋掖済会病院）

17:00-17:15　閉会式

大会長：渡邉　栄三（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）

第２会場（愛知医科大学　301 講義室）

9:10-10:10　　シンポジウム④

【ICLS コースの新しい指導形態】

座　長：畑田　剛（地方独立行政法人 桑名市総合医療センター　救急科）
　　名知　祥（中濃厚生病院　救命救急センター）

演　者：
「企画運営委員会より：HP の現状と今後、新テキストと時短コースについて」
　　志賀　一博（聖隷三方原病院　高度救命救急センター）

「ICLS コースと働き方改革との協調」
　　畑田　剛（桑名市総合医療センター　救急科）

「岐阜県 ICLS コースの現況と今後」
　　三宅　喬人（岐阜大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

「名大病院での ICLS の工夫ー地場産業としての ICLS」
　　貝沼　関志（稲沢市民病院）

「ICLS の「教え方」にも根拠を―インストラクショナルデザインを用いた指導者養成ワークショップ―」
　　大石　奨（朝日大学 保健医療学部 救急救命学科）

10:15-11:45　　JPTEC ブラシュアップ

【第 1 部】魅力ある JPTEC へ　～現場活動につなげる考え方～

司　会：花木　芳洋（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）
　　稲垣　和人（岡崎市消防本部）

演　者：
「現場活動につなげる考え方」
　　牛田　延彦（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）

「魅力ある JPTEC へ 福井県における受講率向上への取り組み」
　　四本　仁寛（杉田玄白記念公立小浜病院）

「外傷教育体制からみた JPTEC の課題と展望」
　　斉藤　崇典（長野市消防局）

「魅力ある JPTEC へ ～原点回帰と新たなる挑戦～」
　　石田　和正（白山野々市広域消防本部）

「魅力ある JPTEC の継続を目指して」
　　桒田　茂太朗（飛騨市消防本部）

「作法から手技へ ～現場で活かせる手技を身に付ける～」
　　高木　満（射水市消防本部）

「魅力ある JPTEC へ ～現場活動につなげる考え方～」
明石　康宏（湖西市消防本部）

「ロードアンドゴー実現に向けた現場活動 10 分以内への挑戦」
赤池　亮太（富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部）

「JPTEC 更新コースへの車外救出・SMR 教育の導入による頸椎損傷アンダートリアージ低減への取り組み」
松下　来師（津市消防本部）

【第 2 部】JPTEC の立ち位置と向かうべき方向

司　会：稲垣　和人（岡崎市消防本部）
講　演：船曳　知弘（藤田医科大学　高度救命救急センター）

12:00-13:00　ランチョンセミナー①

【高カリウム血症の対策を考える～我が国の災害医療対策を含めて～】

座　長：渡邉　栄三（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）

演　者：
「救急で 小児の腹痛 あれやこれ」
平山　祐司（トヨタ記念病院 集中治療科）

「腹痛に潜む代謝疾患」
尾﨑　信暁（日本赤十字社愛知医療センター　名古屋第一病院 内分泌内科）

「原因「不明」という前に！救急で遭遇する Rare な腹痛の見つけ方」
薬師寺　泰匡（薬師寺慈恵病院 救急科）

共　催：Alnylam Japan 株式会社

13:10-14:10　ハンズオンセミナー

【Regional CQI Workshop × First 5 Program in Aichi 現】

共　催：旭化成ゾールメディカル株式会社

14:15-15:45　パネルディスカッション⑤

【Beyond the Chain（院外から院内へ、命をつなぐ架け橋）】

座　長：加納　秀記（愛知医科大学病院　救急診療部）
立松　健二（尾三消防本部　豊明消防署　警防課　課長補佐　消防司令）

演　者：
「JRC 蘇生ガイドライン 2025 を踏まえた院外心停止の蘇生戦略」
　　名知　祥（中濃厚生病院救急救命センター）

「High Performance CPR を地域の当たり前にするために」
　　木村　拓哉（済生会宇都宮病院救命救急センター）

「つなぐ蘇生を地域で実践する～ Stay & Resuscitate, and Run ～」
　　藤田　健亮（済生会宇都宮病院　救急・集中治療科）

15:55-16:55　教育講演

【救急・集中治療における生命維持治療の終了／差し控えに関する 4 学会合同ガイドラインの目指すもの】

司　会：前田　重信（福井県立病院　救命救急センター）

講　師：
「救急・集中治療における生命維持治療の終了／差し控えに関する 4 学会合同ガイドラインの目指すもの」
　　宮部　浩道（総合大雄会病院集中治療科）

第 3 会場（愛知医科大学　302 講義室）

9:10-10:10　若手企画講演

【急性薬物中毒や自傷のその後・・・精神科救急で困るあれこれ Q&A セッション】

座　長：上谷　遼（岐阜大学医学部附属病院　高次救命治療センター）
　　佐藤　史隆（富山大学附属病院　災害救命センター）

演　者：
「急性薬物中毒や自傷のその後・・・精神科救急で困るあれこれ Q&A セッション」
　　志賀　一博（藤田医科大学　岡崎医療センター　救急科）

10:15-11:45　パネルディスカッション②

【地域救急医療の担い手としてのドクターヘリ】

司　会：花木　芳洋（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）
　　稲垣　和人（岡崎市消防本部）
コメンテーター：井上　保介（総合大雄会病院）

演　者：
「地域救急医療を支えるドクターヘリの広域連携―能登半島地震の経験と平時の課題―」
　　蜂谷　聡明（石川県立中央病院　救命救急センター）

「地域救急医療の担い手としてのドクターヘリ」長野県内外の連携」
高山　浩史（信州大学医学部附属病院　高度救命救急センター）

「出動１万件を超えて―愛知県の多様な地域をつなぐ「顔の見えるドクターヘリ」―」
寺島　嗣明（愛知医科大学病院　高度救命救急センター）

「静岡県東部ドクターヘリにおける県内外複数機連携の現状と課題　―県内連携と３県広域連携の経験から今後のあるべき連携を考える―」
大森　一彦（順天堂大学医学部附属静岡病院）

12:00-13:00　ランチョンセミナー②

【高齢社会における頚髄損傷診療 ―診断・治療から再生医療まで―】

座　長：織田　順（大阪大学大学院医学系研究科救急医学教授）

演　者：
「高齢社会における頚髄損傷診療 ―診断・治療から再生医療まで―」
横川　文彬（金沢大学地域未来医療整形外科学講座特任助教）

共　催：ニプロ株式会社

14:15-15:45　パネルディスカッション④

【Beyond the Chain（院外から院内へ、命をつなぐ架け橋）】

座　長：岩崎　翼（愛知医科大学病院　救急診療部）
鈴木　めぐみ（尾三消防本部　豊明消防署　警防課　課長補佐　消防司令）

演　者：
「高度救命センターにおける多職種連携と地域包括ケアの推進　～地域完結型医療への接続と全体最適への取組～」
水谷　卓史（中濃厚生病院救急救命センター）

「未受診妊婦の救急受入から考える地域支援への情報連携」
杉岡　里美（社会医療法人宏潤会　大同病院）

「救急受診時から地域での生活を見据える看護―その人に必要な場所へつなぐために―」
石田　桃子（順天堂大学医学部附属静岡病院）

「救急から地域へ―「つながる」と「支えられる」の間にあるもの：生活支援を巡る連携と地域の仕組みー」
佐々木　亮（訪問看護ステーション IROHANA）

「本人の意思を尊重した退院支援における多職種・関係機関との連携の一事例」
上山　一樹（社会医療法人　尚徳会　ヨナハ丘の上病院）

「救急外来で社会的セーフティネットのきっかけを生む ―医療ソーシャルワーカー・地域連携室との連携強化―」
岩崎　弘子（JA 長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター）

15:40-16:50　放射線技師教育講演

【HERS における必要な知識と技術】

座　長：鈴木　崇宏（藤田医科大学病院　放射線部　ER 部門）
　　桐生　和馬（愛知医科大学病院　中央放射線部）

演　者：
「Hybrid-ER システムは救急診療における新たなソリューションとなり得たのか？―今日までの取組と今後の課題―」
　　稲垣　直之（済生会横浜市東部病院　放射線部）

第 4 会場（愛知医科大学　203 講義室）

9:10-9:50　教育セミナー①

【敗血症診療の変遷　標準化プロトコルから個別最適化の時代へ】

司　会：鈴木　浩大（岐阜大学医学部附属病院　高次救命救急センター）

演　者：
「敗血症診療の変遷　標準化プロトコルから個別最適化の時代へ」
　　松嶋　麻子（名古屋市立大学大学院　医学研究科　救命救急医療学）

10:10-10:50　教育セミナー②

【小児救急のいま】

司　会：岡島　正樹（金沢大学附属病院　救急科）

演　者：
「小児救急のいま」
　　伊藤　友弥（あいち小児保健医療総合センター）

11:10-11:50　教育セミナー③

【南海トラフ地震に備える―「被災地」だけではない災害医療―】

司　会：稲田　眞治（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　救命救急センター）

演　者：
「南海トラフ地震に備える―「被災地」だけではない災害医療―」
　　高橋　礼子（愛知医科大学）

12:00-13:00　ランチョンセミナー③

【その TMA，aHUS かもしれない―多職種で進める TMA の分類と治療―】

座　長：中村　智之（藤田医科大学医学部麻酔・集中治療医学講座主任教授）

演　者：
「その TMA，aHUS かもしれない―多職種で進める TMA の分類と治療―」
丹保　亜希仁（旭川医科大学　臨床医学講座　救急医学講座　准教授）

共　催：アレクシオンファーマ合同会社

13:10-13:50　教育セミナー④

【救急外来の頻脈性不整脈―診断・初期対応から専門治療への橋渡しまで―】

司　会：近藤　圭太（春日井市民病院　救命救急センター）

演　者：
「救急外来の頻脈性不整脈―診断・初期対応から専門治療への橋渡しまで―」
田邊　すばる（愛知医科大学）

14:10-14:50　教育セミナー⑤

【救急領域における画像診断と IVR】

司　会：舩越　拓（名古屋市立大学　救命救急センター）

演　者：
「救急領域における画像診断と IVR」
下平　政史（愛知医科大学医学部　放射線医学講座）

15:10-15:50　教育セミナー⑥

【救急医も創をみよう！（熱傷、NSTI の創管理）】

司　会：服部　友紀（名古屋市立大学病院　救命救急センター）

演　者：
「救急医も創をみよう！（熱傷、NSTI の創管理）」
中島　紳史（JCHO 中京病院　救急科）

16:10-16:50　教育セミナー⑦

【小粒でもピリリと辛い Minor Emergencies】

司　会：大須賀　章倫（JCHO 中京病院）

演　者：
「小粒でもピリリと辛い Minor Emergencies」
　　渡瀬　剛人（藤田医科大学病院　救急総合内科）

第 5 会場（愛知医科大学　201 講義室）

9:10-10:20　パネルディスカッション③

【救急医療チームのための薬剤師のトリセツ～多職種連携を深めるために～】

司　会：西田　祥啓（岐阜大学医学部附属病院　高次救命救急センター）
　　田坂　健（金沢医科大学病院　薬剤部）

演　者：
「救急医療チームに求められる薬剤師の役割」
　　中島　義仁（公立陶生病院）

「チーム医療を最大化する専門職の活用法」
　　山本　麻里子（掛川市・袋井市病院企業団立　中東遠総合医療センター　薬剤部）

「救急・集中治療における注射薬の「困った」をなくす ～注射薬の希釈濃度標準化への取り組み～」
　　九鬼　大作（鈴鹿中央総合病院）

「管理者の立場から考える救急領域における薬剤師のトリセツ」
　　野口　裕介（京都第二赤十字病院）

「急変時対応における薬剤師のトリセツ ～命をつなぐために薬剤師ができること～」
　　内田　淳（山梨大学医学部附属病院）

10:35-11:45　ワークショップ②

【NP と入院時重症患者対応メディエーター】

司　会：笠原　真弓（浜松医療センター　医療安全管理部）
　　山口　均（社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院　救命救急センター）

演　者：
「救急科 診療看護師（NP）の実践ークリティカルケアにおける役割と今後の展望ー」
　　片田　将司（社会医療法人厚生会 中部国際医療センター）

「藤田医科大学救急領域における診療看護師（NP）の活動」
廣末　美幸（藤田医科大学医学部　救急医学・総合内科学講座）

「救命のその先を支える入院時重症患者対応メディエーターの役割」
河合　由美（トヨタ記念病院）

「救急・集中治療領域における入院時重症患者対応メディエーターの役割」
上野　沙織（愛知医科大学病院）

12:00-13:00　ランチョンセミナー④

【重症外傷診療において、ハイブリッド ER をどのように使うと有用なのか】

座　長：後藤　縁（藤田医科大学医学部麻酔・集中治療医学講座主任教授）

演　者：船曳　知弘（藤田医科大学病院　高度救命救急センター）

共　催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

13:10-14:00　アフタヌーンセミナー

【全身管理におけるてんかん発作コントロールの重要性～全身炎症と神経炎症のクロストーク～】

司　会：寺島　嗣明（愛知医科大学医学部救急集中治療医学講座講師）

演　者：土肥　謙二（昭和医科大学医学部救急・災害医学講座主任教授）

共　催：ユーシービージャパン株式会社

14:15-15:25　ワークショップ①

【救急医療における予後を変える初期戦略　―栄養とリハの最適解を探る―】

司　会：勝木　竜介（愛知医科大学病院　救命救急科）
鈴木　昭夫（岐阜大学医学部附属病院　薬剤部）

演　者：
「重症患者における最適な栄養療法とは？」
矢田部　智昭（公立西知多総合病院）

「重症患者の急性期における栄養療法とリハビリテーションの最適化―量とタイミングを再考する―」
飯田　有輝（愛知淑徳大学）

「早期栄養介入はアウトカムを変えるのか？」
原　なおり（愛知医科大学病院　栄養部）

「重症患者に対する脂質代謝指向型の栄養療法とリハビリテーションが予後改善に寄与しうる」
苛原　隆之（春日井市民病院　救命救急センター）

15:35-16:45　パネルディスカッション①

【敗血症蘇生における人工補助療法】

司　会：森口　武史（山梨大学医学部　救急集中治療医学講座）
演　者：尾辻　眞矢（愛知医科大学病院　臨床工学部）

「敗血症蘇生における免疫制御血液浄化 ―顆粒球吸着カラムを用いた IMBPS の開発と臨床応用―」
中村　智之（藤田医科大学麻酔・侵襲制御医学講座）

「敗血症に対する急性血液浄化　現状と展望」
明瀬　夏彦（山梨大学附属病院救急部）

「サイトカイン吸着を考慮した新たな血液浄化療法の敗血症患者への有用性に関して」
谷口　巧（金沢大学附属病院集中治療部）

「敗血症性 ARDS に対する人工呼吸器管理の進歩」
錦見　満暁（愛知医科大学　救急集中治療医学講座）

「VV-ECMO 管理における臨床工学技士の役割と多職種連携」
谷　亮太（JA 愛知厚生連　豊田厚生病院　臨床工学室）

「ECMO 搬送のノウハウと様々な課題」
池山　貴也（あいち小児保健医療総合センター　小児救命救急センター）

ポスター会場（愛知医科大学　101 講義室）

10:45-11:45　ポスター発表①

【院外心停止疫学研究】

座　長：柳川　洋一（沼津市立病院　救急科・臨床工学科）
田渕　昭彦（安城更生病院　救急科）

P1-1　「救急車両現着後の患者接触遅延と院外心停止後の神経学的転帰：全国コホート研究」
伊藤　喜紀（金沢医科大学）

P1-2　「東日本大震災後の院外心停止転帰における長期的地域差：17 年間の人口ベースコホート研究」
伊藤　喜紀（金沢医科大学）

P1-3　「寒冷・降雪は院外心停止におけるバイスタンダーの救命行動を左右するか　～全国ウツタインデータを用いた行動の解析～」
稲寺　史晃（富山大学医学部 6 年生）

P1-4　「三重県院外心停止における早期アドレナリン投与の推進状況と 1 か月後社会復帰率―10 年間の年次推移―」
宮崎　伊佐夫（日本赤十字社　伊勢赤十字病院）

P1-5　「バイスタンダーによる AED 使用が心原性院外心停止における Response time と 1 ヶ月後生存の関連に及ぼす影響」
野原　直希（岐阜大学工学部電気電子・情報工学科情報コース）

P1-6　「農地を含めた屋外仕事場の院外心停止の転帰の比較」
田中　義人（金沢医科大学病院）

【熱傷・中毒・異物】

座　長：三宅　喬人（岐阜大学医学部附属病院　高次救命治療センター）
森　茂（中濃厚生病院　救命救急センター）

P2-1　「ミロガバリン（タリージェ®）による神経症状が疑われた 2 例」
黒岩　遼（JA 愛知厚生連海南病院）

P2-2　「重症外傷における意識障害にてアセトアミノフェン中毒が併存した一例」
西田　秀弘（岐阜大学医学部附属病院）

P2-3　「パーマ液服用による腎障害に対して血液浄化療法を施行した 1 例」
平山泰地（一宮西病院）

P2-4　「真夏の高温に曝露され生じた Hot air sauna burns の一例」
市川　拓人（総合大雄会病院）

P2-5　「高体温は小脳を選択的に障害する　―広範な小脳病変を呈し救命困難であった重症熱中症の一例―」
小澤　悠太（浜松医科大学　医学部医学科）

P2-6　「単純 X 線検査で確認されなかった 100 円硬貨誤飲を CT で診断した 1 例」
小山　斗夢（長野赤十字病院）

【ER・トリアージ】

座　長：岩崎　弘子（JA 長野厚生連 佐久医療センター　救命救急センター・ER）
上川　智彦（山梨県立中央病院）

P3-1　「救急外来における熱傷患者初期対応の標準化に向けた課題抽出」
松田　真由（愛知医科大学メディカルセンター）

P3-2　「当院救急外来における妊婦トリアージの現状と初期対応標準化への取り組み」
栗田　夏野（浜松医科大学医学部附属病院）

P3-3　「二次救急外来に勤務する看護師の帰宅時支援における臨床判断」
浦島　航大（市立砺波総合病院）

P3-4　「ナッジ理論と教育的アプローチを活用した救急外来における再トリアージ実施率向上への取り組み」
榊山　麻由佳（愛知医科大学病院）

P3-5　「シームレスな治療を支える救急外来の看護配置」
高野　一城（山梨県立病院機構山梨県立中央病院）

P3-6　「口腔状態（歯の本数）と救急車利用との関連：JAGES データを用いた横断研究」
鈴木　景太（浜松医科大学医学部健康社会医学講座）

【ACP・その他】

座　長：説田　守道（伊勢赤十字病院）
石田　桃子（順天堂大学医学部附属静岡病院　救命救急センター）

P4-1　「ER からの連携搬送における標準化～患者・家族が安心して療養継続ができるハブとなる～」
髙山　綺乃（社会医療法人財団慈泉会　相澤病院）

P4-2　「ECPR を要した症例における救急看護の実践　～救命処置から紡ぐ『時間』と家族の『生きていく』を支える看護～」
伊藤　香菜子（中京病院）

P4-3　「患者の事前意思の具体性は大規模言語モデルの人工呼吸器推奨を変えるか」
谷口　裕亮（西口町しんあいクリニック）

P4-4　「救急外来におけるケアリングの振り返り――現在の症状への注力からトランスパーソナルケアに活かすために――」
齊藤　大空（山梨県立病院機構山梨県立中央病院）

P4-5　「気管挿管を行わない方針のもと集学的治療を行い改善した高齢者術後多臓器不全の一例」
松田　眞依（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

P4-6　「EICU における重症外傷患者の栄養状態の実態調査」
山口　嘉大（愛知医科大学病院）

【外傷】

座　長：石田　桃子（順天堂大学医学部附属静岡病院　救命救急センター）
水谷　文俊（名古屋掖済会病院　外科）

P5-1　「びまん性特発性骨増殖症を伴う椎体破裂骨折に後腹膜出血を合併し経カテーテル動脈塞栓術を施行した 1 例」
金澤　雄介（名古屋市立大学病院 先進救急災害医学）

P5-2　「フレイルチェストを伴う多発肋骨骨折に対して SSRF（Surgical Stabilization of Rib Fractures）を行った一例」
松村　涼汰（愛知医科大学病院）

P5-3　「転倒後の超高齢者に生じた横隔動脈損傷による大量血胸の 1 例」
藤本　隆史（聖隷浜松病院）

P5-4　「待機的に腹腔鏡下修復術を施行した外傷性横隔膜ヘルニアの１例」
藤村　芽衣（諏訪赤十字病院）

P5-5　「胸部外傷初療中に緊張性気胸との鑑別を要した食物残渣による左主気管支閉塞性無気肺の１例」
戸松　篤志（岐阜大学医学部付属病院）

P5-6　「特発性頸髄硬膜外血腫の１例」
平松　直人（春日井市民病院　救命救急センター）

14:30-15:30　ポスター発表②

【循環器】

座　長：都築　通孝（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院　救急部・集中治療部）
間遠　文貴（榛原総合病院　救急診療科）

P6-1　「敗血症性心筋症と判断しVA-ECMOを導入した未診断の筋強直性ジストロフィーの一例」
福井　成道（藤枝市立総合病院）

P6-2　「パニック発作を契機として急性心不全で呼吸原性心停止を来した一例」
鷺坂　陽香（藤枝市立総合病院）

P6-3　「閉塞性肺疾患増悪を契機にたこつぼ心筋症を発症した高齢女性の２例」
吉森　玲那（厚生連高岡病院　救急集中治療科）

P6-4　「病理解剖によりARDSの原因が感染性心内膜炎と診断できた一例」
大坪　英里佳（藤枝市立総合病院救急科）

P6-5　「高齢者の肺炎mimicsとして教育的示唆に富んだ僧帽弁逆流症の１例」
牛本　知孝（金沢医科大学）

P6-6　「完全房室ブロックを伴う急性右室梗塞後の右室自由壁破裂に対しV-A ECMOおよび２度の右室修復術を経て救命し得た１例」
岡沢　洸志（諏訪赤十字病院）

【臨床研究】

座　長：真弓　俊彦（独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院　ICU診療部）
問田　千晶（信州大学医学部附属病院　救急集中治療医学教室）

P7-1　「ドクターヘリ『要請手順最適化』へのアプローチ ―志摩市消防本部の試み―」
福山　弘樹（志摩市消防本部）

P7-2　「SOFA-2腎スコアの評価と探索的改良版腎スコアの開発：多施設後ろ向きコホート研究」
小野　将平（自治医科大学附属さいたま医療センター）

P7-3　「地理情報システムを用いた富山県ドクターヘリのランデブーポイント利用分布と医療圏別重症度・緊急度の検討」
小松　琉晏（富山大学医学部医学科）

P7-4　「1 年間に当院へ救急搬送された手指完全切断・不全切断症例 28 例の検討：医療圏外からの搬送では治療開始までの時間が遅延していないか？」
瀬尾　亮太（一宮西病院）

P7-5　「階層ベイズモデルを用いた脳卒中救急搬送件数と気象因子との関連の季節差評価」
鈴木　健太（岐阜大学工学部電気電子・情報工学科情報コース）

P7-6　「重症熱傷患者における予後予測因子としての SOFA スコアおよび Charlson Comorbidity Index の有用性」
久下　祐史（愛知医科大学救急集中治療医学講座）

【感染症】

座　長：問田　千晶（聖隷浜松病院　救急・集中治療科）
土手　尚（信州大学医学部　救急集中治療医学教室）

P8-1　「組織球性峰巣炎を合併した肥満、糖尿病の一例」
河本　遼介（沼津市立病院）

P8-2　「膀胱穿孔による尿性腹膜炎の一例（特発性細菌性腹膜炎との鑑別に難渋した症例）」
田口　湧也（名古屋市立大学病院）

P8-3　「門脈血栓症・化膿性門脈炎の形態を取った Fusobacterium nucleatum 菌血症の一例」
浅井　敦貴（藤枝市立総合病院）

P8-4　「髄膜炎菌性髄膜炎に反応性関節炎を合併した 1 例」
佐藤　文音（社会医療法人財団　慈泉会相澤病院）

P8-5　「熱帯地域出身成人に生じた水痘肺炎の 1 例―疫学的背景を踏まえた鑑別と初期対応―」
味元　寛貴（磐田市立総合病院　救急科）

P8-6　「術後の細菌性膀胱炎から急性の経過を辿った感染性大動脈瘤の一例」
岡田　幸太郎（春日井市民病院）

【神経】

座　長：豊田　泉（岐阜県総合医療センター　救急科）
望月　勝徳（安曇野赤十字病院）

P9-1　「診断に難渋した脊髄くも膜下出血の 1 例」
中川　翔太（大垣市民病院）

P9-2　「診断に難渋した硬膜下血腫の一例」
舘祐　香里（富山大学附属病院）

P9-3　「腹痛を初発症状とし診断に約 2 か月を要した胸髄硬膜内髄外腫瘍の 1 例」
三上　朋文（磐田市立総合病院　救急科）

P9-4　「若年女性に発症した感染性心内膜炎（IE）による多発性脳梗塞の１例」
田中　亮輔（春日井市民病院救命救急センター）

P9-5　「救急搬送された Restless legs 症候群の１例」
三浦　敏靖（名古屋市立大学医学部附属東部医療センター　救急科）

【症例報告①】

座　長：後藤　　縁（名古屋掖済会病院　救急科）
山崎　潤二（岐阜県立多治見病院）

P10-1　「受傷早期に著明な血小板減少を呈し，速やかに回復したマムシ咬傷の１例」
小池　隆介（三重大学医学部附属病院 救急科）

P10-2　「開腹歴の無い妊娠12週の妊婦の絞扼性イレウスに対して腹腔鏡下手術を施行した1例」
小野　有加（諏訪赤十字病院）

P10-3　「正中弓状靱帯症候群（median arcuate ligament syndrome：MALS）が原因と考えられる膵十二指腸動脈瘤破裂による後腹膜出血の一例」
神原　淳一（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）

P10-4　「気管支動脈瘤破裂により縦隔血腫・血胸を来し閉塞性ショックを呈した一例」
野村　怜史（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

15:50-16:50　ポスター発表③

【病院前症例】

座　長：三木　靖雄（藤枝市立総合病院　救命救急センター）
山田　法顕（社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院　救急総合診療科）

P11-1　「ヘルプネットの通報により覚知した車両転落事故における劇的な救命事案」
齋藤　晋太郎（砺波地域消防組合消防本部　南砺消防署　東分署）

P11-2　「既存ストレッチャーによる Head-Up CPR は可能か ―自動心マッサージ機 4 機種の圧迫性能比較―」
山田　冥大（愛知淑徳大学　救急救命学専攻）

P11-3　「食肉加工場で発生した外傷性窒息の一例」
洞口　富規雄（高山市消防本部国府分署）

P11-4　「インスリンポンプを装着したⅠ型糖尿病傷病者の救急活動と低血糖に関する調査」
松原　孝頼（各務原市消防本部）

P11-5　「プレホスピタルからインホスピタルへのバトン精度を高めるために～効果的な病院前情報伝達について～考察」
浅井　祐二（尾三消防組合）

P11-6　「救助を要した心肺停止に対し ECPR を行い良好な転帰を得た１例」
岩下　耀平（医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院　臨床研修センター）

【ICU・RRS・教育】

座　長：坂田　久美子（愛知医科大学　看護学部）
　　山田　秀則（名古屋掖済会病院　救命救急センター初療室）

P12-1　「救急外来における臨床推論を基盤とした看護師の臨床判断過程ー脳幹梗塞症例を通してー」
　　浅野　永美花（愛知医科大学メディカルセンター）

P12-2　「救命救急センター実習における看護学生の反応に応じた見学支援」
　　山本　篤大（大阪大学医学部附属病院）

P12-3　「低血糖性意識障害を契機に Rapid Response System が起動され、病態再評価により敗血症性ショック増悪を早期認識し得た一例」
　　山西　貴大（浜松医科大学医学部附属病院）

P12-4　「高度治療室におけるせん妄発症予防の取り組み」
　　森　郁登（浜松医科大学医学部附属病院）

P12-5　「生体情報モニターのテクニカルアラーム削減に向けた取り組み」
　　宮地　恵美（愛知医科大学メディカルセンター）

P12-6　「クリティカルケア看護経験の浅い看護師が多い ICU における急変対応教育のリフレクション効果」
　　加賀爪　真弓（山梨大学医学部附属病院）

【症例報告②】

座　長：高橋　善明（浜松医科大学医学部附属病院　救急部）
　　川浪　匡史（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

P13-1　「病歴聴取が診断につながったイソシアネートによるアナフィラキシーの 1 例」
　　荒木　亮輔（JA 愛知厚生連海南病院）

P13-2　「著しい低カリウム血症に対して大量のカリウム補正を要した複合的要因があった一例」
　　竹内　昭憲（江南厚生病院　集中治療科）

P13-3　「脳死肝移植により救命した急性肝不全型 Wilson 病の 1 例」
　　森田　優華（三重大学医学部附属病院　高度救命救急・総合集中治療センター）

P13-4　「維持透析中の 1 型糖尿病患者に発症した糖尿病性ケトアシドーシスによる高カリウム血症から無脈性心室頻拍を来した 1 例」
　　柳沢　周（JA 長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター 救命救急センター）

P13-5　「遷延する炎症反応と血小板減少から TAFRO 症候群と診断した 1 例」
　　原　公彦（愛知医科大学病院）

P13-6　「重症感染症の管理中に痙攣が突発し診断の再考に至った高齢男性の一例」
　　寺西　正樹（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

【病院救命士】

座　長：石倉　健（三重大学医学部附属病院　高度救命救急・総合集中治療センター）
　　吉田　隆浩（高山赤十字病院　救急部）

P14-1　「三次救急から二次救急へ―病院救急救命士が構築した新たな役割」
　　渡部　圭介（さくら総合病院）

P14-2　「A 病院救急外来看護師における病院救命士への役割期待―質問紙調査による検討―」
　　長山　菜穂美（国立大学法人　富山大学附属病院　災害・救命センター）

P14-3　「当院救命救急センターにおける「病院緊急車両運転資格」制度と安全教育の取り組み」
　　小杉　雪歌（社会医療法人財団　慈泉会　相澤病院）

P14-4　「当院における救急患者連携搬送の課題と展望」
　　菅家　潮音（国立大学法人　富山大学附属病院）

P14-5　「ラピッドレスポンスカー現場活動での病院救急救命士の専門性と役割ー病院前診療を支える役割の再考ー」
　　伊藤　大智（藤枝市立総合病院）

P14-6　「病院救急車で患者搬送中に車両の不具合が発生し搬送遅延　～実際の対応と今後の課題～」
　　大澤　壱成（医療法人医仁会さくら総合病院）

【病院前研究】

座　長：吉田　昌弘（厚生連高岡病院　救命救急センター）
　　林　美恵子（聖隷浜松病院）

P15-1　「風呂での溺水死を減らすために　～救急救命士の視点から考える予防～」
　　赤井　佑輔（富山市消防局）

P15-2　「現場滞在時間の可視化が救急活動にもたらす行動変容について～救急業務高度化研究会でのデータ共有を通じた検証～」
　　牧田　賢二（四日市市消防本部南消防署）

P15-3　「電動ストレッチャー導入が現場滞在時間に与える影響：長期経過と後続導入車への波及効果」
　　名倉　達也（尾三消防本部　豊明消防署）

P15-4　「心血管疾患傷病者に対する 119 番通報時緊急度判定と心血管疾患病院前救護プロトコルは救急隊の判断向上に寄与するか」
　　中西　良太（伊勢市消防本部）

P15-5　「ロードアンドゴー実現に向けた現場活動１０分以内への挑戦」
　　赤池　亮太（富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部）

P15-6　「地域特性と救急搬送時間の関連」
　　植田　湧（浜松医科大学医学部健康社会医学講座）

2026 年 12 月 6 日（日）

愛知医科大学 大学本館 たちばなホール

10:00-11:50　市民公開講座

【交通事故の重大ケガゼロへ！】

司　会：渡邉　栄三（第 29 回 日本救急医学会中部地方会総会・学術集会 会長／愛知医科大学医学部 救急集中治療医学講座 教授／愛知医科大学病院 高度救命救急センター長・副院長）

講演者：

「夢の力～逆境からの挑戦～」
井谷　俊介（SMBC 日興証券株式会社　パラアスリート）

「緑内障ってどんな病気？視野障害ってどういうふうに見えるの？　安全運転のためになる話」
國松　志保（西葛西・井上眼科病院 副院長／東北大学医学部眼科学教室　非常勤講師）

「愛知県を取り巻く外傷診療の現状と体制整備」について
津田　雅庸（愛知医科大学病院　高度救命救急センター）